

建築金物の信頼ブランド

オメガ印 

登り梁・斜め梁(平面)用 フリーアングル 羽子板セット

施工マニュアル

保護手袋着用



商品を取り出すとき、施工するときは、切断面に触れると手を切る恐れがありますので注意してください。

(一財)建材試験センター 性能試験済
登り梁12.5寸勾配 短期基準引張耐力：8.5kN
性能試験 第15A0251号
斜め梁(平面)45° 短期基準引張耐力：11.2kN
性能試験 第15A1238号

■使用上のご注意

フリーアングル羽子板セットの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。

金物及び接合具（ビス）は指定の用途以外には使用しないでください。

けが防止のため手袋等をはめて作業してください。

腐朽、腐食、湿った木材への取付けは避けてください。

金物取り付けの際、安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。

ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

- ・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。
- ・ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。
- ・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
- ・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
- ・堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

金物が変形するまでボルトを締め付けしないでください。

仕口なしでの取付けは避けてください。

必ず六角ナットM12とパクトナットM12のWナットになるよう締め付けてください。

使用箇所・用途

登り梁端部の接合、斜め梁（平面）端部の接合に使用します。

セット内容

○1セットあたり	
・W羽根Uビスタイプ	1個
・角ビットビスTBA-65	4本
・M12用平ワッシャー	1枚
・M座金	1個
・角ビットビスTB-101	4本
・六角ボルトM12-240	1本
・六角ナットM12	1個
・パクトナットM12	1個

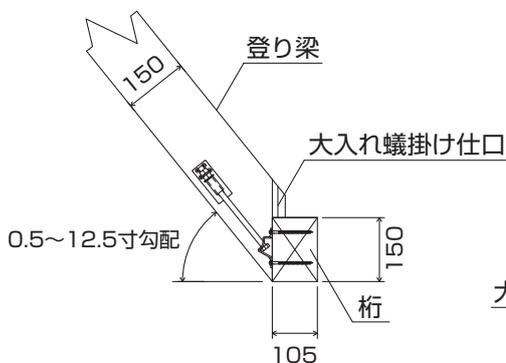
施工方法

裏面参照

取付図例

登り梁

側面図



※登り梁に使用する場合には、材断面を105mm×150mm以上としてください。

斜め梁(平面)

上面図



※斜め梁(平面)に使用する場合には、材断面を105mm×105mm以上としてください。
※木製火打には使用しないでください。

側面図



接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 **タナカ**

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313

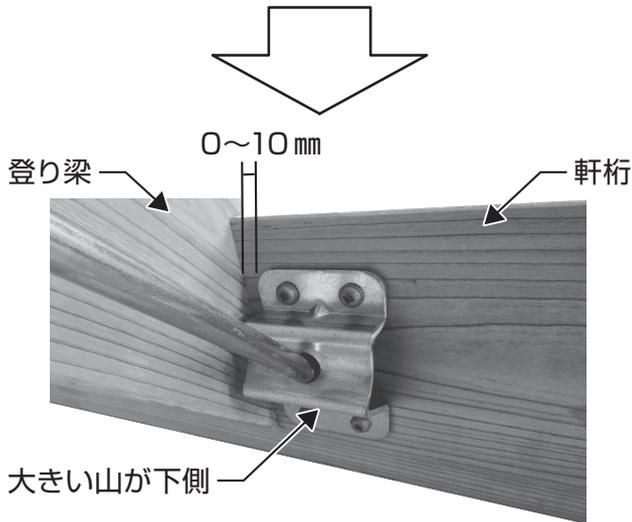
(受付時間) 平日 9:00-17:00

<https://www.tanakanet.co.jp/housing>

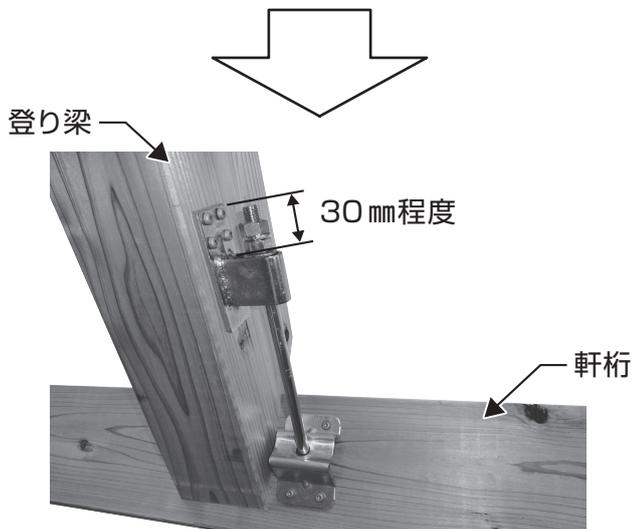
登り梁での施工方法



- ①六角ボルトを写真のようにM座金の内側から通してください。



- ②M座金の向きを写真のようにして、登り梁の側面から0～10mmの位置にM座金を合わせ、専用ビスTB-101(4本)で取付けます。

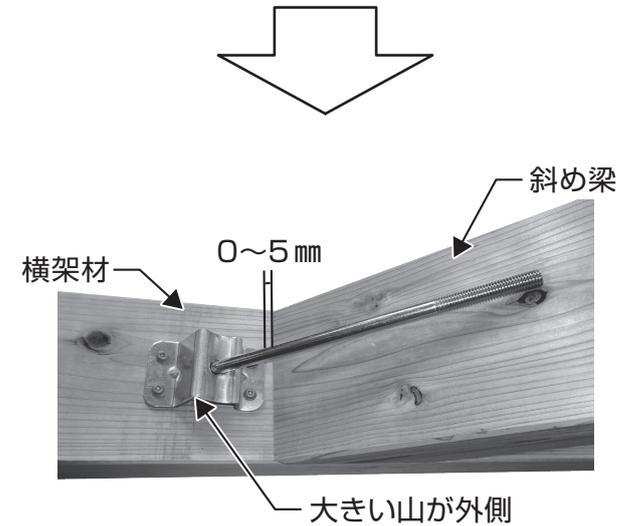


- ③登り梁側面にW羽根Uビスタイプ本体をネジ部先端を通して設置し、専用ビスTBA-65(4本)で取付けます。
(Wナットにするため、ネジ部は30mm程度出してください。)
- ④ネジ部にM12用平ワッシャーを介して六角ナットM12で締め付けてください。
- ⑤パクトナットM12でさらに固定してWナットになるようにしてください。
※必ず六角ナットM12とパクトナットM12のWナットになるよう締め付けてください。

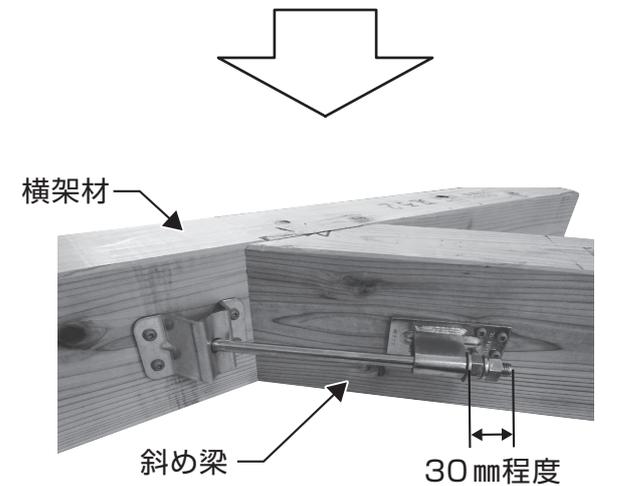
斜め梁(平面)での施工方法



- ①六角ボルトを写真のようにM座金の内側から通してください。



- ②M座金の向きを写真のようにして、斜め梁の側面から0～5mmの位置にM座金を合わせ、専用ビスTB-101(4本)で取付けます。



- ③斜め梁にW羽根Uビスタイプ本体をネジ部先端を通して設置し、専用ビスTBA-65(4本)で取付けます。
(Wナットにするため、ネジ部は30mm程度出してください。)
- ④ネジ部にM12用平ワッシャーを介して六角ナットM12で締め付けてください。
- ⑤パクトナットM12でさらに固定してWナットになるようにしてください。
※必ず六角ナットM12とパクトナットM12のWナットになるよう締め付けてください。